

「第二期愛知県図書館の基本的な運営方針（2023-2027）」2023年度事業計画

目指すべき姿 1 すべての県民の「知りたい」に応える図書館

目指すべき姿	取組の柱	内容	主な施策	2023年度		
				事業番号	事業内容	数値目標 (網掛けは基本的運営方針の数値目標)
1 すべての県民の「知りたい」に応える図書館	(1) すべての県民への図書館サービスの提供	すべての県民が質の高い図書館サービスを受けることができるように努めます。県図書館への来館が困難な人へは、市町村立図書館等の協力を得たり、インターネットを利用したりして資料や情報を提供します。また、障害者、高齢者、外国人などへの図書館サービスの充実を図ります。	○誰でも利用しやすい図書館サービスの推進			
			1	県図書館から市町村立図書館等（学校（図書館）を含む）に向けて、年間16,000冊以上の協力貸出を目指します。【46再掲】	県内図書館等への協力貸出冊数 16,000冊以上	
			2	県内図書館等の蔵書横断検索システム「愛蔵くん」や「雑誌・新聞総合目録」を提供するとともに、内容の充実を図ります。【47再掲】		
			3	来館のほか、メールや電話によるレファレンスサービスを提供します。		
			4	電子書籍について、新たなタイトルの購入を継続し、コンテンツの充実を図ります。また、利用者拡大のため、効果的なPRの方策を検討・実施します。【68再掲】	電子書籍へのアクセス件数 月平均5,541件を上回る	
			5	資料やサービス環境を整備し、利用者のニーズに応えるサービスの提供に努めます。また、アンケートの実施等により、今後のサービス内容検討のための資料とします。	来館者アンケートでの「来館の目的が達成できた」が2021年度（85.6%）を上回る	
			○障害者、高齢者、外国人など様々な県民への図書館サービスの充実			
			6	読書に障害のある方へのサービスや資料の充実を図るとともにより多くの方に周知を行います。		
			7	NEW! 障害を持つ方への郵送貸出サービスをより充実させます。		
			8	大活字本、読み上げ機能に対応した電子書籍など、高齢者にもやさしい資料の充実を努めます。また、読書補助具の点検を行い、必要に応じて更新等を実施します。		
	9	多文化サービスコーナーの資料充実のため、各外国語図書や日本語学習用資料について、100冊を目標に収集します。	多文化サービスコーナー資料 100冊収集			
	10	多文化サービスコーナーの活用を図るためコーナーの利便性向上や効果的な広報に努めます。				
	(2) 人の成長・学びを支える活動	児童やティーンズを対象としたサービスや講演会・セミナーを始めとした生涯学習の支援など、人の成長・学びを支える活動を進めます。	○児童やティーンズに読書の楽しみを伝え知の力を育てる活動			
			11	若い人たちに読書の楽しみを伝えるため、児童向け「おはなし会」や参加型イベントを実施するほか、ティーンズコーナー利用者に向けた資料展示や参加型企画（てこぼん大賞）を行います。また、インターネットやSNSなどによる情報発信を行います。		
			12	子供の読書活動推進のため、学校図書館の運営に対する助言や支援ができるよう体制を整備し、積極的に市町村立図書館や学校等へ職員を派遣します。【59再掲】		
13			県立高校等の児童・生徒による学習活動の発表の場としてYotteko等を活用した企画展示を実施します。【60再掲】			
14			子供読書活動推進にかかわる関係機関や団体等と連携・協力し、イベントや企画展示を実施します。			
15	若者・外国人未来応援事業（高校中退者等を対象とした高卒認定試験合格のための学習支援及び外国人を対象とした希望の進路実現のための日本語学習支援）を実施する教育委員会に協力し、会場や資料・学習場所の提供を行います。					

目指すべき姿	取組の柱	内容	主な施策	2023年度		
				事業番号	事業内容	数値目標 (網掛けは基本的運営方針の数値目標)
1 すべての県民の「知りたい」に応える図書館	・学(2)びを 支える活動 人の成長	児童やティーンズを対象としたサービスや講演会・セミナーを始めとした生涯学習の支援など、人の成長・学びを支える活動を進めます。	○県民の知的欲求に応え生涯学習に資する講座等の開催			
			16	愛知芸術文化センター(栄施設)の各施設や陶磁美術館、愛知県公立大学法人の各大学等と連携して、第一線の文化芸術活動を一般の方に紹介する講演会や企画展示を実施します。		
			17	利用者の調査研究を支援するため、各種データベースの活用講座などを実施します。		
	(3) 県民の求める情報を提供するための資料・サービスの充実	これまで力を入れてきたレファレンスサービスのさらなる充実に努めるとともに、拠点図書館としての役割を果たすべく継続的かつ計画的な資料の収集及び保存を行っていきます。	○レファレンスサービスのさらなる充実			
			19	レファレンスサービス関連の研修を、適切かつ効果的な手法を検討し実施します。		
			20	利用者自身が調べる際の手助けとなる「調べ方ガイド」を充実させます。		
			21	国立国会図書館のレファレンス協同データベースに、事例を20件以上登録します。	レファレンス協同データベース事例登録 20件以上	
			○拠点図書館としての継続的かつ計画的な資料収集及び保存			
			22	拠点図書館としての役割を果たすとともに、魅力ある特徴的なコレクションを構築し、蔵書検索アクセス数が年間210万件以上となるよう努めます。	蔵書検索アクセス数 2,100,000回	
			23	重点分野の資料について、自館購入資料の50%以上を占めるように努めます。	重点分野資料 自館購入点数 50%以上	
			24	非流通図書である社史、団体史等について、100点以上の受入れを目標に、必要な資料を調査・選定し、収集に努めます。	社史、団体史等 100点以上収集	
			25	貴重和本をデータ化した資料や、新たにデータ化する資料を順次調査したうえで「貴重和本デジタルライブラリー」等のWebサイトで公開します。 【69再掲】	デジタルアーカイブ公開数 1,131タイトルから1,140タイトル以上 (数値目標2027年度 1,140タイトル)	
			26	補修の必要な革装図書の調査を行います。		
			27	あいちラストワン・プロジェクトを運用方法の見直しの検討を行いながら効果的に進めます。 【53再掲】		
			○寄附制度(あいちBookサポーター等)を活用した資料の充実			
			28	「あいちBookサポーター」制度を活用し、資料の充実を図ります。		
			29	NEW! 「雑誌スポンサー制度」を活用し、雑誌等の充実を図ります。		
			(4) を支える図書館運営 地域の文化・産業	地域資料及びビジネス関係資料の充実を図ることで地域の文化・産業を支える図書館運営を行っていきます。	○豊富な地域資料やビジネス関係資料を用いた情報提供等による活動支援	
30	県内他機関のデジタルアーカイブ等地域資料情報へのリンクを整備し、Webサイトの「愛知県関係地域資料ポータル」を充実させます。 【70再掲】					
31	レファレンスへの対応に加えて、講演会や所蔵資料の展示事業も実施します。また、専門機関や外部団体との連携をとりながら、利用者のニーズに添ったビジネス支援ができるように努めます。					
		32	NEW! 地方創生の核となる地方自治体職員をはじめとした、地域づくりに関わる方々への支援として、雑誌を含めた関連資料を集めたコーナーの設置を検討します。			

目指すべき姿 2 情報発信・交流活動の拠点としての図書館

目指すべき姿	取組の柱	内容	主な施策	2023年度		
				事業番号	事業内容	数値目標 (網掛けは基本的運営方針の数値目標)
2 情報発信・交流活動の拠点としての図書館	(1) 情報発信の拠点化	1階エントランスYotteko (ヨッテコ) 等で県の各局と連携して、企画展示や講演会を開催することにより、県政の情報発信拠点としての役割を果たすとともに、「見せる(魅せる)図書館」としての広報活動の充実を図ります。	○県政の情報発信拠点としてのYotteko (ヨッテコ) 等の活用			
			33	1階エントランスYotteko (ヨッテコ) 等で、県の各局や関係団体と連携・協力して企画展示や講演会を開催し、県政の情報発信と県図書館が所蔵する資料の一層の利活用を図ります。		
			○見せる(魅せる)図書館としての広報活動の充実			
			34	SNS (Facebook、Twitter、YouTube) による情報発信を充実させ、県図書館の情報をより早く、広く提供します。	SNSの発信数と閲覧数 発信数 1,000件 閲覧数 900,000件	
			35	館報「あゆち」及び「事業年報」を発行し、時宜に即した内容のものとなるようにします。		
			36	マスメディアへの情報提供を積極的に行い、図書館の活動を広く知っていただけるようにします。		
			37	会議や研修、アウトリーチの場を使い、県図書館の広報に努めます。		
	38	県職員向け「県図書だより」を年間2回以上発行します。				
	(2) 賑わい創出と県民の交流を促す場づくり	Yotteko (ヨッテコ) 等を活用して、企画展示、イベントを行うことで、県図書館が賑わい創出と県民の交流の場となるよう努めます。 さらに、県民との協働、社会参加を促す図書館づくりに努めます。	○Yotteko (ヨッテコ) における交流の場としての新展開			
			39	図書館資料を使った企画展示及び関係機関や団体と連携したセミナー、ワークショップなどのイベントを開催します。	企画展示・イベントの実施回数 展示 50回 イベント 70回	
			40	話し合いができるグループ学習席など、人が集まり交流する明るい空間を提供します。		
			41	NEW! 新たに制定された「あいち県民の日」(11/27)に関連する展示やイベントを実施します。		
			42	NEW! 指定管理者と連携したイベントを実施します。		
			○ボランティア活動の機会の提供			
43			NEW! 当館で活動する読み聞かせボランティアや、視覚障害者等への朗読ボランティアを対象とした研修会を実施します。また、読み聞かせボランティアを追加募集します。			
○館内スペースの有効活用						
44	NEW! 新しい場作りやゾーニングについて、他館の状況などの情報収集を行い検討します。					
45	若者や社会人の学習活動を支援するため、大会議室での学習室開放を実施します。	大会議室学習室開放 年間30回程度				

目指すべき姿 3 ネットワークのハブとなる図書館

目指すべき姿	取組の柱	内容	主な施策	2023年度		
				事業番号	事業内容	数値目標 (網掛けは基本的運営方針の数値目標)
3 ネット ワークの ハブと なる 図書 館	(1) 市町 村立 図書 館等 への 支 援	県民の身近にある市町村立図書館等がより質の高い図書館サービスを提供できるよう、資料の提供・保存、運営の支援、人材育成などの支援に一層力を入れていくとともに、県立学校等に対しても資料の提供、講師等の派遣により、連携を深めていきます。	○市町村立図書館等への支援（協力貸出、運営支援、市町村の人材育成）			
			46	県図書館から市町村立図書館等（学校（図書館）を含む）に向けて、年間16,000冊以上の協力貸出を目指します。【1再掲】	県内図書館等への協力貸出冊数 16,000冊以上	
			47	県内図書館等の蔵書横断検索システム「愛蔵くん」や「雑誌・新聞総合目録」を提供するとともに、内容の充実を図ります。【2再掲】		
			48	安定した資料搬送のため、予算確保や運行の効率化に努め、週1回の資料搬送定期便を維持します。		
			49	「@ライブラリー」の実施について、県図書館が愛知県公立図書館長協議会等のネットワークを通じて、企画調整や広報の充実を行います。		
			50	県図書館の市町村立図書館へのサポートのニーズを把握し、それぞれの地域での読書推進活動に資するため、市町村の中央図書館のうち10館以上を、計画的に訪問します。	市町村の中央図書館訪問館数 10館以上	
			51	図書館未設置自治体についても、公民館図書室等の施設や読書推進活動の担当課等を1以上訪問し、図書館未設置自治体での読書推進活動を把握します。	図書館未設置自治体訪問施設数 1以上	
			52	図書館未設置市町村に対して、貸出文庫の貸与のほか、相互貸借を拡充します。		
			53	あいちラストワン・プロジェクトを運用方法の見直しの検討を行いながら効果的に進めます。【27再掲】		
			54	愛知図書館協会等のネットワークを活用し、県内図書館の状況の把握と研修に対する要望を踏まえ、時宜に適した内容の研修を、適切かつ効果的な手法を検討し実施します。		
			55	NEW! 県図書館と市町村立図書館職員との人事交流を試行実施します。【80再掲】		
			○県立学校等との連携			
			56	県立学校最寄りの市町村立図書館を経由した協力貸出について、学校訪問等によってニーズを確認し、対象学校を拡大します。	市町村立図書館経由で貸出を利用する学校数 22校から24校以上に拡大 (2027年度までに35校)	
			57	県図書館から学校（図書館）に向けて年間3,500冊以上の協力貸出を目指します。（市町村立図書館への協力貸出と合わせて16,000冊以上）	学校への協力貸出冊数 3,500冊以上	
58	NEW! 課題解決学習を始めとした探究活動や修学旅行等の事前学習の際に幅広く活用していただけるよう、テーマごとの学校貸出用セットを用意し、県立学校等への貸出しを行います。					
59	子供の読書活動推進のため、学校図書館の運営に対する助言や支援ができるよう体制を整備し、積極的に市町村立図書館や学校等へ職員を派遣します。【12再掲】					
60	県立高校等の児童・生徒による学習活動の発表の場としてYotteko等を活用した企画展示を実施します。【13再掲】					

目指すべき姿	取組の柱	内容	主な施策	2023年度		
				事業番号	事業内容	数値目標 (網掛けは基本的運営方針の数値目標)
3 ネットワークのハブとなる図書館	ネットワー ク の 活 用	東海・北陸地区の県立図書館のネットワークを活用した広域的な相互貸借体制を維持、発展させていくなど、広域図書館ネットワークの活用を図ります。	○東海・北陸地区図書館の相互貸借や研修の相互受講			
			61	東海北陸地区公共図書館協議会等の場で、研修の相互受講について、提案・意見聴取します。		
			○国立国会図書館との連携強化			
			62	国立国会図書館が提供する「JAPAN/MARC (ジャパンマーク)」を利用した書誌データの安定的な運用を進めます。		
	(3) 図書館を取り巻く機関との連携強化	図書館だけでなく、博物館、美術館、公文書館、大学、観光・商工団体等、県図書館を取り巻く多様な団体と連携、協力を図り、県図書館のさらなる認知度向上、利用者増を図っていきます。	○愛知芸術文化センター栄施設との連携			
			63	愛知芸術文化センター栄施設を中心として行われるイベントなどに合わせて、文化芸術活動を一般の方に紹介する講演会や資料の展示を実施します。		
			○博物館、美術館、公文書館、大学、観光・商工関係など多様な機関との連携			
			64	県公文書館と連携・協力して、県図書館と県公文書館が所蔵する地域資料・県関係行政資料の利活用を促進します。		
			65	観光情報コーナーについて、県の担当局、県内市町村の観光関係当局、地域の観光協会等と連携し幅広い観光情報の収集・提供を実施し、充実を図ります。		
			66	東三河コーナーについて、県東三河総局、東三河8市町村の観光関係当局等と連携・協力し、東三河の観光情報の幅広い収集・提供を実施します。また、東三河の自然・文化等を紹介する企画展示を実施します。		
67	子育ての方に役立つ他の機関や団体のチラシやパンフレット類を常備し、案内・配布します。					

目指すべき姿 4 デジタル技術の活用により新たな社会に対応する図書館

目指すべき姿	取組の柱	内容	主な施策	2023年度		
				事業番号	事業内容	数値目標 (網掛けは基本的運営方針の数値目標)
4 デジタル技術の活用により新たな社会に対応する図書館	(1) 非来館型サービスの充実	デジタル技術の活用により、電子書籍やデジタルアーカイブの充実、オンライン利用登録の拡充など、非来館型サービスの充実を推し進めます。	○電子書籍の充実			
			68	電子書籍について、新たなタイトルの購入を継続し、コンテンツの充実を図ります。また、利用者拡大のため、効果的なPRの方策を検討・実施します。【4の再掲】	電子書籍へのアクセス件数 月平均5,541件を上回る	
			○デジタルアーカイブの充実			
			69	貴重和本をデータ化した資料や、新たにデータ化する資料を順次調査したうえで「貴重和本デジタルライブラリー」等のWebサイトで公開します。【25の再掲】	デジタルアーカイブ公開数 1,131タイトルから1,140タイトル以上 (数値目標2027年度 1,140タイトル)	
			70	県内他機関のデジタルアーカイブ等地域資料情報へのリンクを整備し、Webサイトの「愛知県関係地域資料ポータル」を充実させます。【30の再掲】		
	(2) サービスDXを意識した	ボーンデジタル資料(*)の収集・保存・提供、Webサイトの利便性の向上を図るなど、DXを意識したサービスの提供を行っていきます。 (*): ボーンデジタル資料：紙媒体ではなくデジタルのみで発行、公開される資料。	○オンライン利用登録の推進			
			71	オンライン利用者登録を周知し、便利に使っていただけるような広報や案内を行います。		
			○オンラインによる複写物の提供（公衆送信）の検討			
			72	NEW! オンラインによる複写物の提供（公衆送信）について、他機関等からの情報収集を行い、サービス提供に向けて検討を進めます。		
			○ボーンデジタル資料の収集、保存、提供			
73	NEW! 県・市町村が発行したボーンデジタル資料を収集・保存し、当館のWebサイトで閲覧できる仕組みを試行します。					
○Webサイトの利便性の向上等						
74	NEW! Webサイトの利便性を向上させるため、Webサイト上で簡易な問合せに対応できるチャットボットを導入します。					
○図書館電算システムの更新						
75	NEW! 図書館電算システムの次期システムへの更新に向けて、利用者にとってより利便性の高いシステムづくりの検討を進めます。					

目指すべき姿 5 持続可能なサービス環境を備えた図書館

目指すべき姿	取組の柱	内容	主な施策	2023年度		
				事業番号	事業内容	数値目標 (網掛けは基本的運営方針の数値目標)
5 持続可能なサービス環境を備えた図書館	(1) 充実したサービスの提供を企画する職員の育成	県図書館が今後も持続可能なサービスを提供し続けるため、図書館を支える人材の育成とともにサービス水準の向上に努めます。	○デジタル対応など先進的サービスを提供するための人材育成			
			76	県の拠点図書館としての役割について理解を深め、司書職員の専門性の向上、育成を図る館内研修について、10回以上実施できるように努めます。	館内研修の回数 10回	
			77	司書職員としての専門性をより高め、サービスの提供に必要な最新の情報を提供する研修の受講を促します。	職員研修の受講者数 延べ500人以上	
			78	デジタル技術や統計学、広報手法等関連領域の研修（eラーニング等非対面型の研修含む。）に職員の受講を促します。		
			○市町村立図書館支援に資する職員の育成			
			79	市町村立図書館等への職員の講師派遣や学協会等での発表（会報や学協会誌等での文献発表を含む）を年間20回以上実施します。	講師派遣や学協会での発表 年間20回以上	
		80	NEW! 県図書館と市町村立図書館職員との人事交流を試行実施します。【55の再掲】			
	(2) 持続可能な施設管理等	来館者が安全・安心かつ快適に施設を利用することができるよう、県図書館内の体制づくりを進めます。	○新たなサービスに対応するための施設改善検討			
			81	来館者のどなたでも使えるフリーWi-Fiを全館的に運用します。		
			82	NEW! 閉架書庫の書架を増設します。		
			83	地域の拠点図書館としての保存機能を維持するとともに、利用者サービス（閲覧の容易さ、図書の探しやすさ）を向上させるために、資料収蔵スペースを有効に活用できる方法を検討します。		
			○施設老朽化への対応			
			84	施設の老朽化に伴う必要な改修工事を以下のとおり実施します。 ・中央監視制御装置改修工事 ・中央監視室系統パッケージエアコン更新工事		
			85	NEW! 将来的な大規模改修工事の検討を見据えて他施設の状況を調査します。		
○災害、感染症等の危機管理対応						
	86	災害への対応について、業務継続計画（愛知県庁BCP、地方機関BCP）の運用や防災訓練の実施等により、適切に事業継続できる体制を整えます。				
○施設管理における指定管理者による効率的な管理						
	87	指定管理者との連絡会議を毎月実施し、効果的な連携を図ります。				